

第2回新潟市南区内児童館等指定管理者申請者評価会議 会議録

日 時	令和元年10月21日（月） 午後2時から4時40分
場 所	南区役所4階講堂
委 員	委員 小柴 元子 （関東信越税理士会新潟支部 税理士） 委員 藤井 なつみ （新潟県社会保険労務士会 社会保険労務士） 委員 植木 信一 （新潟県立大学人間生活学部子ども学科 教授） 委員 田村 三紀子 （主任児童委員） 委員 保田 夢佳子 （主任児童委員）
事務局	田中課長，渡邊課長補佐，吉田係長，武田主査
傍聴者	1名
□申請者	<p>【1 開会】</p> <p>【2 南区健康福祉課長挨拶】</p> <p>【3 本日の評価の進め方について】 （事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者の欠格要件に該当するものは無し。 ・評価の進め方についての説明。 <p>【4 申請者プレゼンテーション】</p> <p>① 白根児童センターについて 特定非営利活動法人ワーカーズコープ 職員5名 （北陸信越事業本部2名、新潟事業所1名、白根児童センター2名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーカーズコープの概要について ・今までの運営実績について ・事業計画について ・施設の維持管理の基本方針について ・実施事業に対する考え方及び内容について ・地域との連携事業について ・利用促進について ・職員配置について ・事故、危機管理、個人情報について ・社会貢献活動について ・環境保護について
○司会	委員の皆様から、ただいまのプレゼンテーションについて質問をお願いします。なお、事務局からも質問することがございますので、よろしくお願いします。いかがでしょうか。

<p>■委員</p>	<p>事業計画書の1の(3)「新潟市白根児童センター運営の具体的な考え方及び内容」のところなのですが、ここについて説明は今ありましたか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>時間の都合もあるので、ここは割愛させていただきました。</p>
<p>■委員</p>	<p>大変重要なところだと思うのです。ここの内容を聞かないと、白根児童センターが何をやりたいかということがよく分からないので、白根児童センターとして何を大事にしているかということをご説明いただけますか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>自立心、主体性、生きる力にあふれる子どもの育成ということを据えて、まずは居場所づくりということを何よりも大切に考えております。その中で、遊びや集団をとおしての子どもたちの自主性や社会性を育成するということも、とても大事に考えております。あとは季節や自然の中での豊かな心を養うということで、季節に応じた行事や、子どもたちの育ちに応じた発達に応じた支援ということを大事に考えております。誰もが、遊ぶだけではなくて、学び舎としても考えておりますので、子どもたちが学ぶ意欲というものも育てられるような学ぶ環境というものも整えていきたいと考えております。</p> <p>あとは、異年齢や異世代の交流、地域との交流ということを含めて社会性を育てていきたいと考えております。その中では、職員の一人一人のスキル、子どもたちに対する姿勢というものがとても大事になってくると思いますので、子どもたちの育ちや一人一人の環境を垣間見ながら、この子たちにはこういう支援ができればいいなということ、日頃のかかわりの中で話し合いというものを重要に私たちは進めていきたいと考えております。</p>
<p>■委員</p>	<p>ありがとうございました。今、お話しいただいた内容は、児童センターですから小型児童館とは違う機能があるわけですね。そうすると、小型児童館ではなくて児童センターであることの運営の具体的な考え方というふうに捉えていいですか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>はい。あとは地域性というものもあるのですが、児童センターということで南区全体を考えておまして、ほかの児童館とも連携を取りながら、拠点となるような児童館ということを目指していきたいというふうに考えております。</p>
<p>■委員</p>	<p>なるほど。センターとしての拠点性がこの中に含まれているということですか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>■委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございました。</p> <p>2点目です。同じ3の(2)の「交流連携事業」なのですが、ボランティアのところなのですが、31ページ・32ページになりますが、ボランティアさんが訪れる頻度はどのくらいですか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>定期的に行事にかかわってくださっているボランティアさんが毎週来てくださって</p>

	<p>ます。あとはいろいろな行事がありますので、幼児向けの行事に関しても、クリスマスでしたらサンタクロースになっていただいたり、ハロウィンのお手伝いをいただいたり、行事全般でいろいろなところで人が来てくださいます。7人では運営しきれない部分もあるので、毎週来ていただいているボランティアさん以外にも、毎回行事に来てくださるボランティアさんも含めて、月に回数としましては2回から4回。人数では大きな行事だと100人くらいのボランティアさんが来てくださったりするので、定期的に来てくださるボランティアさんはだいたい3名から6名、7名という感じがかかわってくださっています。</p>
■委員	<p>外部からのボランティアさんが来るときに、子どもたちはどんな反応ですか。</p>
□申請者	<p>大学生のボランティアさんが来てくれると、とても嬉しいみたいで、お兄さん、お姉さんと一緒に遊ぶということが非常に楽しみにして来てくれています。もちろん毎回来てくださる地域のボランティアさんも多いものですから、日頃から顔をよく知っている方々がボランティアとして来てくださるので、その中で交流がますます増える機会となりますので、子どもたちは大喜びで迎えています。</p>
■委員	<p>外部からのボランティアさんは大事だと思いますので、今後も積極的に、子どもたちの利益になりますから歓迎していただけるといいかなと思います。半分要望です。</p> <p>最後ですが、5の(2)の「事故・災害・緊急時の対応」なのですけれども、避難所になることがあるのですか。</p>
□申請者	<p>なります。</p>
■委員	<p>避難所等になったときの対応に関しては、どこに書いてありましたか。</p>
□申請者	<p>特に、この企画書の中では提示してはいないのですが、避難に関しては避難確保・浸水防止計画というものを立てており、児童センター自体が避難所になっておりますので、避難所運営体制連絡会議が年に2度ほど開かれており、児童センターを含む7名で構成されています。自治会の方や市の職員も含めて、児童センターが避難所になった場合の、マニュアルづくりをしています。具体的に、お体の不自由な方や高齢者、小さいお子さんを子育て中の方向けにはどうすればいいかという具体的な対応等も含めて協議をしております。</p>
■委員	<p>避難所になると地域の方たちが来ますから、本来の児童館の機能が一時的に失われるわけですね。地域の方も受け入れるけれども、親御さんが少し子どもたちと一緒に静かに過ごせるようなスペースを確保するとか、キッズルームを確保するとか、そういったことも含めてマニュアルづくりを進めていただけるといいかなと思いますので、これも半分要望でした。</p>
○司会	<p>ほかの委員で質問等ございましたらお願いします。</p>

<p>■委員</p>	<p>決算書について教えていただきたいことが何点かあります。16期、17期、18期と損益計算書、財務諸表を提出いただいているのですけれども、それぞれ売り上げについては3期とも伸びているような右肩上がりの状態になっています。ただ、当期の損益という形になると、第16期は1億7,200万円、第17期は1,200万円、第3期においては600万円と減少の一途を辿っているような状況が見受けられますが、この背景について教えていただきたいと思います。</p>
<p>□申請者</p>	<p>基本的には事業拡大に伴いまして、それに投入する初期費用、そこでさまざまな費用を計上しておりますので、スタート段階の初期費用というものが基本的なものとなっております。</p>
<p>■委員</p>	<p>新聞等でも見させていただいたところ、法人管理運営人件費のほうがかなり大きな数字に膨らんでいるような形になっています。こちらの人件費は、どのような形でこのように膨らんでいるかというのを教えていただけますでしょうか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>事業拡大に伴い、職員、組合員が少し前は6,000人だったのですが、現在は7,000強に増えている状態です。職員を経理面・労務管理面で、バックアップするためのサポート費用というものが主に膨らんでいます。</p>
<p>■委員</p>	<p>もう1点なのですが、活動予算で、売り上げが前年と比べると25億円増加、当期の損益については3億7,600万円くらい増加の形で決算予算が組まれておりますが、この見通しについても教えていただけますでしょうか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>前年までは、法人内部の助成事業もしておりまして、そのスタート部分が費用、利益を少し抑える状態になっていたと考えます。ただ、それが軌道に乗ってきますと、収入も安定してくるようになってきますので、その辺を見越してほかの事業ともなだらかに平均を予想したような、デザインで現在の予算書というものは設定されております。</p>
<p>■委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>■委員</p>	<p>従事者さんの雇用のことについて2点お伺いしたいと思います。 1点目、有給休暇の取り方についてなのですが、こちらの申請書の中では希望休日を有給休暇とは別に休みたい日を、聞いてからシフトを組みますというような記載がありました。一般的に、希望休暇を聞いてからということになると、なかなか反対にそれ以外の有給休暇が取りづらい環境になりやすいというような声をよく聞きます。その辺は今年からの有給休暇の義務化にも併せまして、今後どのような有給休暇の取得促進を考えていらっしゃるかお伺いします。</p>
<p>□申請者</p>	<p>現在、祝日、休暇を取るにあたっては、スタッフ本人の意思確認を第一として、無理のないスケジュール、さらには館の運営の中で穴が開かないようにスケジュールを調整しながら取得しています。現在も、白根児童センターの職員の有給の取得状況としても、</p>

<p>■委員</p>	<p>無くなってしまうとか消滅してしまうような水準ではないので、現在の水準で推移していけば、特に窮屈な運営にはならないと考えております。</p> <p>もう1点なのですけれども、この申請書の中に、勤務パターンということで、9時から18時と、10時から19時という、2パターンが記載されていました。こちらの資料ですと、開館時間が午前9時から19時までと記載があったのですけれども、この時間がちょうど重なっているのですが、会館準備や閉館の片付けなど当然、鍵の開閉とか、もし9時から19時ということだと、当然その前後が出てくるかなと思われます。この辺りはどのような形で運営していらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>9時から18時までと、あとは10時から19時までとしているのですけれども、朝から行事がある場合だと、少し早く来て準備ということもあります。ですから、それはあくまでも基本であって、実際、行事が多い場合は少し早く来て、早く帰らせていただくとか、そういった対応をとらせていただいたりもしています。</p> <p>9時からの勤務に関しては、朝は15分くらい前に来ればできる範囲の業務で、子どもたちを迎えられるような状況を作っております。</p> <p>終わりの時間に関しましては、暗くなる時間が早いという事で10月からは小学生が5時までで、暗くなる時間が早いということで、5時から6時の間ですと小学生の場合はお迎えがないと遊べないという、安全面に配慮した時間になっております。6時以降になると中・高生のみになりますので、その間に中・高生を見守りながら、残りの者が掃除をしたり、閉館の準備をしたりということで、その時間内で行えるような業務内容になっておりますので、その辺は問題ないかと思っております。</p>
<p>■委員</p>	<p>ありがとうございました。朝の15分早めというところが、最近は労働者さんのほうが、その分は残業だなんていう訴えがあるというケースがよく考えられますので、その辺は、早めに帰っていただくとか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>そうですね、そこら辺は。</p>
<p>■委員</p>	<p>対処をぜひよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
<p>○司会</p>	<p>ほかに、ございますでしょうか。よろしいですか。</p> <p>以上で、白根児童センターに関するプレゼンテーションとヒアリングを終了いたします。ここで10分間の休憩をとりまして、そのあと白根北児童館に関するプレゼンテーションとさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(休 憩)</p>
<p>□申請者</p>	<p>② 白根児童センターについて 特定非営利活動法人ワーカーズコープ 職員5名 (北陸信越事業本部2名、新潟事業所1名、白根北児童館2名)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーカーズコープの概要について ・今までの運営実績について ・事業計画について ・施設の維持管理の基本方針について ・実施事業に対する考え方及び内容について ・地域との連携事業について ・利用促進について ・職員配置について ・事故、危機管理、個人情報について ・社会貢献活動について ・環境保護について
○司会	<p>委員の皆様から、ただいまのプレゼンテーションについて質問をお願いいたします。なお、事務局から質問することもございますので、よろしくをお願いいたします。委員の皆様、いかがでしょうか。</p>
■委員	<p>事業計画書ですけれども、1の3、新潟市白根北児童館運営の具体的な考え方及び内容、この6ページの児童館運営で大切にしたいこと、パワーポイントでもありましたけれども、これを見ると改正児童館ガイドラインの内容が盛り込まれていて工夫されているなど感じました。ただし5ページからの内容が、白根児童センターと何が違うのか。北児童館は小型児童館としての機能を果たすわけであって、児童センターとはまた違う役割を果たすと思うのですけれども、その辺りはこの説明資料は白根児童センターとどこが違うのですか。</p>
□申請者	<p>文章については、白根児童センターと同じ文章になっております。育成の観点ということで、基本的には同じ文章にしております。ただ、取組みとして違うところがありますので、そこは館長のほうから。</p>
□申請者	<p>私たち白根北児童館は、農園があるということが特長になっています。そこを活用して自主性・社会性を育てたり、交流・体験・遊びを通じた活動ができる施設なのですが、私たちはその部分の体験というところを特に重要視しています。農園で土と親しむ機会というのが最近減ってきているということもありますし、そういった部分で親子や友だち同士で農園の農作物を育て、そして一緒に収穫したものを一緒に食すというところで、そういった部分を大事にしています。</p>
■委員	<p>ありがとうございました。口頭で聞けば分かるわけです。したがって、文章の中にそれを生かさなければいけませんね。次回、機会があれば児童センターと、それから小型児童館との機能の違いみたいなところを、それぞれ具体的に文字でおこすといいのではないかなというふうな半分アドバイスです。私からは以上です。</p>
○司会	<p>ありがとうございました。ほかに、ございますでしょうか。</p>

<p>■委員</p>	<p>1点、確認をさせていただきたいと思います。申請書の収支計画積算内訳書の中の体制費補助簿というものが入っているのですが、その中の4人目から7人目の方について、こちらは社会保険は入っていないということになるのでしょうか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>それは、働き方、時間の違いによるものです。本人の意思もありますけれども、そのような辺り等を相談しながら、現在の職員をベースに決めておりますので、現在の職員体制としてはそのような状態になっています。</p>
<p>■委員</p>	<p>御社は法人としては501人以上の労働者さんがいらっしゃいますよね。8万8,000円を超えていらっしゃるようなので、入らなければいけない。</p>
<p>□申請者</p>	<p>それは通勤費を含めての状態ではないのですか。</p>
<p>■委員</p>	<p>通勤費を含めてです。</p>
<p>□申請者</p>	<p>含めてですよ。</p>
<p>■委員</p>	<p>はい。</p>
<p>□申請者</p>	<p>8万8,000円を超える条件としましては、通勤手当を除いた基本給であったり、固定的な給与というもので算定しているはずですが、そのデータは今後の最低賃金の上昇を多少、加味したものもありますので、もしかしたら今の体制にギリギリにかかるような状態になっているかもしれませんが、現在はそれを加味した状態ですので、年金の調査も受けておりますが、現在は特に問題なくクリアできている状態です。</p>
<p>■委員</p>	<p>こちらに入っているのは900円の時給に入っているのですが、今現在はもう少し低いということですかね。</p>
<p>□申請者</p>	<p>そうです。</p>
<p>■委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
<p>■委員</p>	<p>一つだけお聞きしたいのですが、北児童館は土地柄として中州のように、信濃川とそれから中ノ口川の間には設置しております。今回のような災害がありますと大変不安になるのですが、信濃川も暴れ、それから中ノ口川も結構暴れる川というふうにならざるを得ないと思いますが、そういったところの対策はどのように考えていますでしょうか。</p>
<p>□申請者</p>	<p>つい最近の台風のこともあります。なるべく私たちのほうで情報収集を早めに行って、準備の指示が出される前に来館している子どもたちには、なるべく早く保護者に連絡をして迎えに来ていただく対応をとるように職員同士で声かけはしています。しかし、児童館に来館する子の中には登録届というものがいない子もいるので、保護者の連絡先が</p>

	<p>分からなかった場合は、すぐ帰すというわけにはいかないので、児童館でまずは見守るということと、そのあとに行政と協議をした上で避難する場合は、避難所として、大通小学校と一緒に避難して、そのあとの対応を待つというところで話し合いをしています。</p>
□申請者	<p>当団体は全国組織でもありますので、そのような情報も共有し合いながら、それを新潟市のこの現場に活かしていくということなどをやっておりますので、事業本部でいち早く情報を得た場合には、当然、市からの連絡も入ると思うのですが、情報を伝えるなどの取組みはしております。</p>
□申請者	<p>少し補足させていただきますと、今回の台風については、事前に行政に「どうします、児童館開けますか、閉めますか」という協議をさせていただきながら、今回は「開けておいてください」という判断になりました。万が一、子どもさんが逆に来る場合もあるという判断でした。それから実際に児童館では児童も入れながら避難訓練というものも実施したりして、日頃からどのくらい時間がかかるかという、その時間の余裕を見ながら訓練をしているというのも北児童館ではやっているところでございます。</p> <p>あとはインターネットで水位情報やあらゆる情報を見ながら行政とやり取りをしながら判断していくということもやっております。以上です</p>
○司会	<p>ありがとうございました。ほかに、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、これで白根北児童館に関するプレゼンテーションとヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>申請者の方は退出願います。</p>
	<p>(申請者退室)</p>
○司会	<p>評価会議の公開の部分については、終了となりますので、傍聴の方もご退出をお願いいたします。</p>
	<p>(傍聴者退室)</p>
	<p>【5. 評価委員による意見交換・採点】</p>
	<p>【6. 採点結果について】</p>
	<p>【7. 採点後の意見交換】</p>
	<p>【8. 結果公表について】</p>
	<p>【9. 閉会】</p>